

そよかぜ通信

2021年1月 発行

療育・発達支援課

療育相談担当

住所 上山市河崎3-7-1

電話 023-673-3366(代)

今回のそよかぜ通信は、下記の内容をご紹介します。

- ◆ 令和2年度障がい児地域療育担当者研修会 開催報告
- ◆ 判定員のお仕事紹介
- ◆ 療食指導科の紹介
- ◆ 発達障がい者支援センターの紹介
- ◆ 山形県医療的ケア児者・重症児者の会の紹介



令和2年度障がい児地域療育担当者研修会 発達障がい者支援センター研修会 開催報告

令和2年11月10日(火)、三友エンジニア体育文化センター(上山市)にて、「障がい児地域療育担当者研修会・発達障がい者支援センター研修会(共催)」を開催しました。

この研修会は、障がいのあるお子さんやご家族の支援、障がい福祉の向上などを目的として行っているものです。今回は、新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を制限しての開催となりましたが、県内各地で実際に支援に携わっている関係機関や事業所の方々からご参加いただきました。今後の支援等に役立てていただければ幸いです。

《研修会の内容》

1. 「発達障がいのある子どもを持つ親への支援」

県立こども医療療育センター

白幡 恵美 診療科長

2. 「不器用さのある子どもたちへの支援」

県立こども医療療育センター

石山 浩之 作業療法専門員



～知能検査・発達検査のお話～

知能検査・発達検査は、お子さんの特徴を理解し、より良い支援を行うために必要な検査です。当センター鈴木判定員に、知能検査・発達検査のお話を聞きました。

1. 知能検査と発達検査の違い

知能検査は、主に知能に焦点を当て、生活年齢（実年齢）と比べてどの程度の知能年齢があるか、知能指数（IQ）を調べます。発達検査は、認知面や社会性、運動面などの複数の観点から発達の度合い、発達指数（DQ）を調べます。どちらも平均は100となります。

当センターでよく使用しているのは、新版K式発達検査（適用年齢：0歳～成人）、田中ビネー知能検査V（2歳～成人）、WISC-IV知能検査（5歳～16歳）です。年齢だけでなく、お子さんの状況に合わせて検査を選ばせていただいています。

2. 実際の検査について

（1） 検査の実施方法

静穏で刺激の少ない部屋で行います。一定時間着席していただけるお子さんには、机上で検査者と向かい合って課題に取り組んでもらいます。机上での取り組みが難しい場合には、遊びながらお子さんのペースに合わせて実施します。

（2） 所要時間

検査の種類、お子さんの状況にもよりますが、平均的に見て30分～1時間程度です。ただし、WISC-IV知能検査は課題数が多いため、1時間以上かかることがほとんどです。また、検査当日のコンディションが悪かったり、緊張が強すぎたりした場合には、日を改め、数回に分けて実施することもあります。

3. 検査の結果について

検査の結果については、基本的に主治医から診察時に説明があります。この時ご理解していただきたいことは、検査結果には誤差があるということです。検査する側もされる側も人間ですから相性もあるでしょうし、お子さんの当日の体調や情緒も影響します。不安が強い、集中しづらい、マイペースで応じる力が弱い、というお子さんはなかなか本来の力を発揮しにくいかもしれません。また、測定された結果は、知能（発達状況）の一部を見たに過ぎないため、日々の生活で実感している成長が結果に反映されないこともあると思います。ただ、検査は、数値や出来る／出来ない項目だけではなく、課題への興味・集中力・持続力・コミュニケーションのとり方・困難場面での反応など、行動観察もお子さんを理解する上で大切な情報と考えています。そのため、課題の達成度以外の視点でもお子さんの成長をご確認いただけたらと思います。



こんにちは！療食指導科です



療食指導科では入所児童だけでなく、「児童発達支援センター」や「ほがらか」をご利用の方にも食事(給食)を提供しています。

今回は、普段見ることのできない療食指導科内の様子をご紹介します！



◇事務室では、栄養士が栄養管理システムで献立をたてたり、医師からの指示により食事を管理しています。センターで提供している食事の1/3は、機能訓練食(いわゆる嚥下食)となっています。機能訓練食には「えんげ食」「押しつぶし食」「そしゃく食」の3種類があります

◇午前中には業者が持ってきた食材料を検品したり、午後からは栄養指導や、食事オーダーリングにより翌日分の食事の配膳準備をしています。

◇調理室の下処理コーナーでは、納入された食材料を仕分けて下処理を行います。野菜の皮をむいたり、葉を1枚1枚剥がして洗い、虫がついていないか確認します。また、料理に合わせた大きさに食品をカットしていきます。



◇加熱コーナーでは、食事の種類別に調理します。大きな回転釜を使うこともありますが、機能訓練食などは仕上がりの固さをそろえるため、1つの料理でも食品毎に別鍋で調理します。また、ミキサーを使ってなめらかにします。



◇盛付けコーナーでは、ごはんやお粥の重さを測って盛り付けます。また、お膳にのせた料理が間違っていないか食札と料理を見くらべ、最終確認をしてから配膳車にのせて食堂に配膳します。



できあがり

センターでは季節の行事食だけでなく、選択食やリクエストメニューも実施しています。これからも、皆様に安全でおいしい食事が提供できるようところがけていきます。

* 発達が気になるお子さんの家族支援について *

～ 山形県ペアレントメンター事業 ～

山形県発達障がい者支援センター

山形県では発達障がいのあるお子さんや発達が気になるお子さんのご家族への支援として、様々な取り組みを行っています。今回はその中で、ペアレントメンター事業についてご紹介します。村山・最上・置賜・庄内それぞれにある事業所が窓口となっており、今年度の運営期間は令和2年10月1日から令和3年3月31日までです。

【 ペアレントメンター事業 】

～ ペアレントメンターって?? ～

メンターとは「信頼のおける相談相手」のこと。ペアレントメンターは、発達障がいのあるお子さんを育てた経験のある先輩ママ（パパ）が、同じような悩みを抱えながら子育てをしてきた経験・知識・情報を活かし、現在子育てに悩んでいる方からのお話を聴き、寄り添い、支えていくもので、“同じ立場の親による親支援”としての役割が期待されています。



先輩ママ

傾聴・寄り添い

相談



後輩ママ

● 目的

発達障がいのあるお子さんを育てている方に対し、研修を受けたペアレントメンターが同じ親としての立場で悩みに共感し寄り添いながらお話を聴くことにより、子育てにおける不安や孤独感などを防いだり軽減したりすることを目的としています。

● 仕組み

次ページでご紹介する4つの事業所（ペアレントメンター地域推進センター）が窓口となり、市町村、児童発達支援事業所、相談支援事業所、家族会（親の会）等からの要請を受け、ペアレントメンターの派遣を行っています。

● ペアレントメンターの活動の場

- ・地域推進センター主催の茶話会、他派遣先（家族会・親の会や市町村、児童発達支援事業所等）が行う茶話会（グループ相談会）での寄り添い支援（地域推進センターサポーターの同行が必要）
- ・やまがたサポートファイルの作成支援研修会での支援
- ・・・など

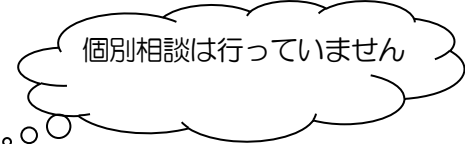
やまがたサポートファイルとは、支援が必要な方について、個性や配慮が必要なこと、記録等をまとめたりファイリングしていくものです。

詳しくは、山形県のホームページで「やまがたサポートファイル」と検索するか、発達障がい者支援センター（023-673-3314）までお問い合わせください。



☆ペアレントメンターができること

- ①相談者の体験や悩みを傾聴すること
- ②自分の育児体験を紹介すること
- ③地域の相談機関や利用できる機関の情報を紹介すること
- ④やまがたサポートファイルの作成支援を通じ普及定着を図ること



☆ペアレントメンターになるためには…

- ①発達障がいのあるお子さんを育てた経験のある方
- ②親の会等における相談活動等の経験のある方
- ③1年以上メンター派遣事業等に従事することが可能な方

①②③を満たす方で、お住まいの地域の「ペアレントメンター地域推進センター」の推薦を受けた方が対象となります。メンターになるには、2日間、終日の養成研修に参加していただくことになっています。また、その後も定期的にフォローアップ研修を受け、活動していただいております。



ペアレントメンター 地域推進センター
 各地域の窓口はこちら です。
 まずはお電話でお問い合わせください。

社会福祉法人さくらんぼ共生会
 ころころ遊園（村山地域）

所在地：寒河江市南町三丁目3番31号
 受付時間：月～金曜 9：00～17：00
 連絡先：0237-86-0160

健康福祉サポート
 かがやき（最上地域）

所在地：真室川町大字新町781-1
 受付時間：月・木曜 9：00～15：00
 火 19：00～21：00
 第2・4日曜9：00～12：00
 連絡先：0233-62-2614
 090-2607-0858

特定非営利活動法人
 ゆにぷろ（置賜地域）

所在地：高畠町大字高畠328番地1号
 受付時間：月～金曜 9：00～17：00
 連絡先：0238-52-5679

株式会社 メグシィ
 キッズスクールメグシィ
 （庄内地域）

所在地：鶴岡市茅原町27-19
 受付時間：月～金曜 9：00～17：00
 連絡先：0235-23-3583

形県 医療的ケア児者・重症児者の会

ひとりじゃないよ。うん！うん！とうなずける仲間がいる。
応援してくれる人たちがいる。

医療的ケア児者・重症児者、その家族たちが思いを共有し、社会と繋がりを持ち、地域社会で豊かに暮らすために必要な環境の改善を図ることを目的として昨年発足しました。それを実現するために必要な情報を発信し、会員の声や地域の課題を県政に届けます。今年はコロナウイルスの影響で思うような活動が出来ずにいますが、随時会員も募集しています。応援よろしくをお願いいたします。

☆おしゃべりカフェ まーの



月に1回おいしいお菓子とお茶の香りに包まれながらアロマやクラフト、パステルアートなどのワークショップを行っています。きょうだい、パパ、ママの交流や休息を目的としています。開催日はFacebookをご覧くださいか、事務局までお問い合わせください。

活動内容

☆重症児者の介助技術研修



昨年、理学療法士の先生をお迎えして開催しました。介助の意義を学び、実技演習も行い、介助をする側とされる側の両方を体験しました。

その他にも、イベント等企画していきます。

☆年に二回の 会報発行



☆きょうだい児の会 “にじっこ”

医療的ケア児者・重症児者のきょうだい同士が、交流する場です。第一回目は手作り名刺交換をして交流を深め、ご両親からのお手紙を受け取りました。

開催は不定期です。



< 年会費 >

- 一般会員（医療的ケア児者及び重症児者とその家族）・・・ 2,000 円
- 賛助会員（活動を応援してくれる個人または団体）・・・ 個人 一口 1,000 円
- 法人 一口 5,000 円

< お問い合わせ先 >

山形県医療的ケア児者・重症児者の会 事務局

合同会社ヴォーチェ まなびのへやバンビーナ吉原 内

住所：990-2453 山形市若宮 4-5-11 Mail：banbi-y@voce-yamagata.net

TEL：023-664-1735 FAX：023-664-1736

【編集担当】 山形県立こども医療療育センター 療育・発達支援課（担当：太田・小林）
〒999-3145 山形県上山市河崎三丁目7番1号
TEL(023)673-3366(代表) FAX(023)673-3757